

スマート IoT 推進フォーラム テストベッド分科会 データ分析・可視化ワークショップ

日時：2020年6月4日(木) 14:00~16:00

場所：Web会議（Zoomウェビナーを使用。詳細は、参加申込者に別途ご案内）

スマート IoT 推進フォーラム テストベッド分科会では、NICT の総合テストベッドの利活用をはじめ、IoT 技術の普及・促進のためのテストベッド実装を目的に活動しています。これまでに、IoT に必要な機器をパッケージ化した「キャラバンテストベッド」や、複数の LPWA 機器のテストを可能にする「LPWA テストベッド」などの提案・実装を進めてきました。

IoT 技術の普及においては、センサ等から得られたデータの利活用が必須となりますが、データ分析や可視化などのツールやノウハウが十分に共有されているとは言えません。IoT 活用のためには、データを収集するだけでなく、データを分析して、価値を生み出す事が望まれています。どのように価値を生み出すかは、その事例やツールの使いこなしが十分に紹介されていないように思います。テストベッド分科会では、データ分析・可視化のためのテストベッドはどうあるべきか、の議論を通じて、この部分に貢献したいと考えています。そこで、今回「データ分析・可視化ワークショップ」を開催し、識者とともに議論させていただきたいと考えています。遠隔会議での形式になりますが、可能な限りフランクに、様々な方からご意見をいただける場となることを期待しています。

IoT データの活用で悩んでいる方や、良い事例をお持ちの方は、ぜひご参加いただき、情報を共有いただくと幸いです。また、IoT データ分析・可視化の、いくつかの取り組みについて知りたい方も大歓迎です。ぜひご参加ください。

プログラム

(敬称略)

- 14:00 開会/ワークショップ主旨説明 名古屋大学 河口 信夫
- 14:05 「Harmaware-VIS と Synerex による動的可視化」
名古屋大学 山内 由貴/河口 信夫
- 14:25 「国・自治体の EBPM を支えるマイクロジオデータ分析・可視化の力」
東京都市大学 秋山 祐樹
- 14:45 「地理空間情報の活用と地域の視覚化
～利活用コミュニティの開拓・連携を目指して～」
東京大学 瀬戸 寿一
- 15:05 「センシングデータ連携による環境品質予測分析・可視化基盤」
NICT 是津 耕司
- 15:25-15:55 ディスカッション：IoT データの分析・可視化について
コーディネータ：河口 信夫
- 15:55-16:00 まとめ/閉会 名古屋大学 河口 信夫

【参加申込要綱】

- ・申込先：テストベッド分科会事務局 (tb-bkk@ml.nict.go.jp、tb-sec-ml@mri.co.jp) 宛
に所属・氏名・emailアドレスを連絡

以上